事務事業マネジメントシート（令和 5年度実績と令和 6年度計画）

令和 6年 8月27日更新

事務事業名	関東合志会運営支援事業			□ マニフェスト関連 □ 全庁横断課題関連 □ 集中改革プラン関連	
総合計画体系 政策	1	自治の健康	所属部	市長公室	課長名 栗木 清智
施策	1	市民参画によるまちづくりの推進	所属課	秘書政策課	担当者名 鶴田 裕之
施策の柱	2	地域づくり（まちづくり）活動機会の確保	所属班	秘書政策班	（内線） 1213

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令
	一般	2	1	1	10338	

終了、開始年度	□ 5年度で終了 □ 5年度から開始	事業期間	□単年度のみ ☑単年度繰返 □期間限定複数年度 （開始年度 18 年度） （ ～ 年度）

★事務事業の概要（ＰＬＡＮ）

【事業の内容】	合志市出身及び合志市にゆかりのある関東在住の人々が相集い、ふるさと合志市の発展と会員相互の親睦を深めるため、年１回総会及び交流会、年２～３回程度の役員会が開催されており、その運営に対する支援を行う。平成３年に関東在住の西合志町出身者・合志町出身者の方がふるさとを思う同郷の方が集まる場が欲しいとの要望からそれぞれの町で開始されていたが、平成１８年合併して合志市となり関東合志会として新たに発足した。 関東合志会メンバーの高齢化もあることから、令和6年度で事業を終了予定としている。
【業務の流れ】	会の運営に対する補助金の交付。また、市長、議長、担当職員等が関東合志会会員が集う年１回（８月）の総会及び懇親会へ参加し、合志市の近況報告、ふるさと納税のお願い、物産品の紹介などを行い、会員との情報交換を行う。また、希望者へは市の広報紙を毎月、送付している（郵送料は自己負担）
【主な予算費目】	【款】２総務費 【項】１総務管理費 【目】１一般管理費 【節】8旅費 9交際費 18補助金
【意見や要望】	総会を開催することにより、合志市の状況を直接詳細に聞くことができるため、ふるさとを想う気持ちが強まる。また、市側も情報を提供することにより特産物などのPR活動に繋がるいい機会にもなるため、継続を望む声が以前は強かった。また、議会から会の存続のため、会員の増加を検討するように要望されていた。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行により、会の開催が4年間空白となり、事務局からは高齢化による会の存続や、例年開催地であった中野サンプラザの閉館なども相まっており、令和6年度で会の解散を考えている状況である。

１ 現状把握の部（ＤＯ、ＰＬＡＮ）

(1)事務事業の目的と指標　　新規・拡充区分

①手段（主な活動） 5年度実績（ 5年度に行った主な活動）（DO）

今年度は新型コロナウイルス感染症のため事務局より総会中止の連絡があった。補助金については、辞退するとのことであったため、支出しなかった。

6年度計画（次年度に計画している主な活動）（PLAN）

総会へ市からも参加し、会員との交流や市発展、会員増加のための協力依頼。また、ふるさと納税の依頼を行う。

① 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）

			(単位)
⇒	ア	総会など開催回数	回
	イ		

予算の主な増減の理由

関東合志会開催に伴う人員増加や航空運賃の値上がりによる旅費の増

②対象（誰、何を対象にしているのか） ＊人や自然資源等

関東合志会会員

②対象指標（対象の大きさを表す指標）

			(単位)
⇒	ア	関東合志会員数	人
	イ		

③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）

総会の際に、市の情報を定期的に得ることにより、遠く離れた故郷への想いを持ち続けることができる。また会員相互の連帯感も生まれる。また、市の災害など有事の際に、会からの支援を行ってくれる。

③成果指標（意図の達成度を表す指標）

			(単位)
⇒	ア	総会等の会合への参加割合	%
	イ		

＊③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠

総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
0

(2)各指標・総事業費の推移

		単位	3年度 実績（決算）	4年度 実績（決算）	5年度 目標（当初予算）	5年度 実績（決算）	6年度 目標（当初予算）	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア	回	0	0	1	0	1	0	0	0
	イ									
② 対象指標	ア	人	176	176	185	0	185	0	0	0
	イ									
③ 成果指標	ア	%	0	0	60	0	60	0	0	0
	イ									
投入量 事業費 財源内訳	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円			477		1,089			
	（A）事業費計	千円	0	0	477	0	1,089	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	2	1	2	0	0	0
	延べ業務時間	時間	1	1	20	1	20	0	0	0
	(B)人件費計	千円	0	0	79	3	79	0	0	0
トータルコスト(A)＋(B)		千円	0	0	556	3	1,168	0	0	0

事務事業名	関東合志会運営支援事業	所属部	市長公室	所属課	秘書政策課

2　評価の部（CHECK）

＊原則は 5年度の事後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	□達成した　☑達成しなかった　⇒【原因
		今年度は会議の開催が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかったため、達成できなかった。
	② 6年度目標達成見込み	□目標達成見込みあり⇒【理由　☑目標達成は厳しい ⇒【理由と対策
		会自体の平均年齢が年々上昇しており、退会する会員が増えてきたことに加え、新たな会員の加入が少なく会員が減少しているため、目標達成は難しいと見込んでいる。
有効性評価	③成果の向上余地	☑向上余地がある　⇒【理由　□向上余地がない　⇒【理由
		合志市出身者を把握し、会への支援（運営費補助をはじめ広報等で周知を行い加入促進を促す）を行うことにより会員の確保・拡充を図る。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	□他に手段がある（具体的な手段、事務事業）　☑他に手段がない　⇒【理由 □統廃合・連携ができる　⇒【理由 □統廃合・連携できない ⇒【理由
		他に類似する事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	□削減余地がある　⇒【理由　☑削減余地がない　⇒【理由
		最小限度の補助金による支援である。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	□削減余地がある　⇒【理由　☑削減余地がない　⇒【理由
		必要最小限の人員の参加である。また、アウトソーシングはなじまない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	□見直し余地がある　⇒【理由　☑公平・公正である ⇒【理由
		会員全員が対象である。また、総会参加費や広報発送料は個人の自己負担であり公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	□見直し余地がある　⇒【理由　☑役割分担は適正である ⇒【理由
		支援事業であるため、民間への移行は難しい。

3　評価結果の総括（CHECK）

関東で合志市の情報が少ない中、広報官を通じ合志ニュースの発行や、合志市の現状や現在の取り組み、出来事などを知らせるとともに、ふるさと納税の案内を行っている。また、いろんな場で活躍されている方々との交流を図ることを目標としている。

4　今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☑廃止　□休止　□目的再設定　□事業統廃合・連携　□事業のやり方改善（有効性改善
□事業のやり方改善（効率性改善　□事業のやり方改善（公平性改善
□現状維持（従来通りで特に改革改善をしない

関東合志会会員の高齢化や直近の参加状況を踏まえ、事務局と協議のうえ、令和6年度の総会を最終回として解散する方針。

(2) 改革・改善による期待成果
（廃止・休止の場合は記入不要）

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策